

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	魅力ある京丹波の里山づくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>本町の基幹産業である農林業の現状は、高齢化の進行や後継者不足、零細な専業農家の増加、また木材需要の低下などが進行している状況であり、集落営農体制の推進、新規就農者の確保などの担い手対策、農地保全対策、また京丹波産の黒大豆などのブランド化の推進、間伐材の有効活用などに積極的な取り組みを行い、産業の活性化、経営として取り組める農林業の強力な推進が求められている。</p>							
プロジェクトの目的及び概要	<p>「丹波高原」の風土を活かした京丹波黒大豆や京丹波栗などの高いブランド産品に代表される「食」の文化的価値が数多く潜在しているところである。これら地域特産物の生産を発展させ、新たな加工品の開発や販路拡大と市場拡大に積極的に取り組むこととあわせて、農林業後継者の育成や多様な担い手の確保、組織の育成、食育の推進などにより農林業経営の発展を目指すとともに、農地や森林の荒廃を防止し、これらの持つ多面的機能を維持して、次世代へ引き継ぐ風土づくりに積極的に努める。</p>							
	総事業費（千円）	854,859	本年度事業費（千円）		114,103	交付金額（千円）		26,100
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村実施事業	間伐材搬出奨励事業	交付対象	間伐材の有効活用事業に対する木材搬出助成（資源循環）		材積760㎡			
	有害鳥獣対策事業	交付対象	シカ、イノシシ等の有害鳥獣駆除に対する報償		平成26年度主な捕獲実績（シカ1,331頭、イノシシ399頭、サル4頭、7ライグマ31頭、ハクビシ19頭、ヌートリ72頭、タヌキ20頭、7ナグマ22頭、ハシブトガラス8頭、ハシホシガラス8頭）			
	木のぬくもり活用促進事業	交付対象	ハチマシ燃料利用装置の普及啓発及び導入補助事業、森林資源量解析システム開発導入事業		薪ストーブ導入5件 啓発用薪ストーブ設置2支所 森林資源量解析システム開発化（平成27年度導入予定）			
	森林（もり）の文化創造事業	交付対象	幼少期からの「木育（木の良さを感じる心の育み）」と地域材の循環利用促進を実施		中央公民館整備「子ども室」設計（平成27年度施工予定） 「ぬく森のイス」プレゼント事業（製作80台、プレゼント51台）			
	土づくり推進事業	関連事業	堆肥の有効活用助成、資源循環型農業を推進する事業		堆肥による土づくり補助実績4団体			
	新規就農育成事業	関連事業	新規就農者への活動運営支援		就農者後見人1名 ハウス使用及び機械使用支援2件			
住民協働事業	京丹波「食の郷」プロジェクト創造事業	交付対象	京丹波に関わるイベント開催などの「食」の発信事業、新加工品開発などの「食」の創造事業の実施		「京丹波●食の祭典」を平成26年10月26日に府立自然運動公園、府立須知高校校内及び民間企業とのジョイント会場で開催 12,400人会場（対前年1,400人増）			
	特産物作付助成事業	関連事業	ブランド産品等作付助成事業		作付指導2団体			
住民が取り組む事業	農業振興事業	交付対象	営農組合等が整備する施設及び機械に対する補助事業		機械導入（田植機、畦草刈機、畦塗機等）3団体 施設整備（精揉機、生葉切断機、ライスバク-改修等）3団体			
	農地保全対策事業	交付対象	営農組合等が整備する農業用施設等の維持改修に対する補助事業		用水路改修、農道舗装等17団体			
	黒大豆・小豆生産加速化事業	関連事業	ブランド産品生産強化補助事業		ブランド産品啓蒙推進指導団体3団体			
成果指標①	成果指標の目標数値	黒大豆栽培面積 90ha		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		36ha		
	成果指標の達成状況	▲	（左の理由）	高齢化による管理経営面積の減少及び早めの集荷ができる黒豆枝豆として出荷されるものの増加が一層増えたための、栽培面積の減少と考えられる。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		
成果指標②	成果指標の目標数値	新規就農者 2名		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		6名		
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）					
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）			（時期）		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	複数集落連携組織 9組織	成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	3組織
	成果指標の達成状況	▲ (左の理由)	人口減少及び高齢化が進んだ小集落同士の連携組織を作っているが、既存組織に連携を必要とする集落が入っているためと考えられる。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
成果指標 ④	成果指標の目標数値	京丹波食の祭典入場者数 15,000人	成果指標の実績値 (平成26年10月26日時点)	12,400人
	成果指標の達成状況	○ (左の理由)	民間企業とのジョイント会場を設定することで、入場者数を増やせるように取り組んだ。従来の会場のみ入場者数を見ると11,700人で、ジョイント会場は700人の入場者数であった。目標数値には達していないが、一定の増加が見られた。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期	(理由)	(時期)	
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	農山村地域特有の行政課題がある中で、有害鳥獣対策事業、農業振興事業、農地保全対策事業等を通じて、農業経営の発展と地域特産物の生産に寄与できた。また、間伐材搬出奨励事業等を通じて森林の荒廃を防止と間伐材の利活用に努めることができた。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。			
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	間伐材を利用したバイオマス燃料の推進の取り組みや堆肥の有効活用を支援することにより、循環型社会形成の促進に寄与できた。又、地元ブランド製品の作付を推進することにより、「食の郷」京丹波を町外にアピールできる地盤を形成しつつある。		
	府と市町村等との連携に資する成果	平成24年4月に開設された京都府立林業大学校との連携により、林業後継者の育成及び本町の地域振興と林業振興を進めている。		
	住民の自治意識を高める成果	住民自らが農村地域を守るため、農業施設整備、営農環境整備、農業機械導入を実施することで、その実現が図られた。		
	リーディング・モデル成果	府内で先進的な木質バイオマス資源（間伐材）の活用を図り、循環型社会の実現を目指すため、森林資源量解析システム導入に取り組み、将来にわたる持続可能な林業の育成を図りつつある。		
	広域的波及成果	京丹波「食の郷」プロジェクト創造事業を通じて、京丹波の「食」をテーマに町の魅力を発信し、産業の活性化や地域特産物や加工品のPRにつながった。		

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは―を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	にぎわいのあるまちづくりプロジェクト	実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子高齢化が進み人口が減少傾向にある本町において、定住対策を進めるため働く場の確保が課題となっている。こうした中で、道路交通網の整備や畑川ダムによる事業用水の確保など企業立地条件の早急な整備が求められている。一方では、都市部との交流基盤の確立のため既存交流施設や交流イベント等を通じて新たな集客力を測る事業も積極的に展開していくことが求められている。						
プロジェクトの目的及び概要	人が暮らす定住対策として、住民の生活環境を支えるライフラインの充実はもとより、定住しやすい基盤環境づくりや交通路網の充実が必要であり、人が集う交流対策としては町の特性を活かした集客性のある基盤づくり及び既存公園や新たな地域資源を活かした交流拠点施設の整備、また都市との交流イベントの積極的推進を図ることなど、総じて「にぎわいのあるまちづくり」として位置づけ、定住人口と共に交流人口の増加を目指すため積極的な事業展開を図る。						
	総事業費（千円）	271,802	本年度事業費（千円）	10,800	交付金額（千円）	3,350	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）		
市町村実施事業	住宅改修事業	交付対象	住宅改修助成、庁内商工業の活性化		個人の住宅改修に対し10万円を限度として、かかった費用の10%を補助する。補助件数111件		
住民協働事業	京都・丹波ロードレース運営助成事業	交付対象	11月3日に開催される「京都・丹波ロードレース」への助成事業		参加者数3,484名		
	質志鐘乳洞公園運営事業	関連事業	質志鐘乳洞公園運営経費		来園者数14,193名		
住民が取り組む事業	京丹波夏まつり活性化事業	交付対象	京丹波町観光協会が地域活性化のために開催する夏まつりへの運営補助		入込者数約20,000名		
成果指標①	成果指標の目標数値	観光入込客数 130万人		成果指標の実績値 (平成26年12月31日時点)	185万人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成28年度の交流人口の町総合計画目標を達成できた。さらに京丹波PA及び道の駅「京丹波味夢の里」の完成及び畑川ダム周辺整備などにより観光入込客数の増加が期待できる。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		
成果指標②	成果指標の目標数値	京丹波夏まつり来場者数 17,000人		成果指標の実績値 (平成26年8月5日時点)	20,000人		
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	町在住者、町外帰郷者及び町外来町者に、毎年8月5日に開催する「京丹波夏まつり」のイベントが着実に定着してきており、特に観光協会等のコマーシャルによる町外来町者の認知度が上がってきている。また、京丹波PA及び道の駅「京丹波味夢の里」の完成が入込者数の増加に拍車をかけると思われる。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)		(時期)		

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ③	成果指標の目標数値	京都・丹波ロードレース参加者数 4,200人	成果指標の実績値 (平成26年11月3日時点)	3,484人
	成果指標の達成状況	▲	(左の理由)	市民ランナーが参加するマラソン大会の開催が各地で行われ、特に京丹波町近隣で行われるフルマラソン大会が11月3日に近い日程で行われた。このフルマラソンに合わせて調整するランナーも多く参加者数の減少を招いたと思われる。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
成果指標 ④	成果指標の目標数値	住宅改修補助金交付件数 120件	成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	111件
	成果指標の達成状況	○	(左の理由)	町内事業者の活発なセールスによりこの事業の認知度が上り、補助件数は増加している。近年の異常気象に伴う家屋の損壊（屋根、壁）、バリアフリー化、省エネ化等が多く、今後もこの傾向が続くと思われる。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	京都縦貫自動車道京丹波PAと一体的な地域振興拠点（道の駅「京丹波味夢の里」）の完成が間近であり、京都府において建設が進められた畑川ダムの完成に伴い、引き続きダム湖畔の周辺整備を進めている。京都縦貫自動車道の全線開通と道の駅「味夢の里」の完成等が、相乗効果で更なる観光入込客を増やし、にぎわいのあるまちづくりに寄与できると期待している。			
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。			
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	京丹波町観光協会との連携のもと京丹波町の観光や地元ブランド産品等を町外へアピールすることでできた。さらに、全国から参加される京都・丹波ロードレースにおいても、町の魅力を肌で感じてもらえる機会となった。		
	府と市町村等との連携に資する成果	京都府事業である畑川ダム本体工事に関連したダム湖畔周辺整備として事業を実施しており、ダム周辺地域整備協働推進事業を住民組織、地元区、地元生産森林組合、京都府及び京丹波町で更なる事業推進を図っている。		
	住民の自治意識を高める成果	ダム湖畔周辺整備及び京都縦貫自動車道京丹波PAと一体的な地域振興拠点整備（道の駅「京丹波味夢の里」）において、地元協議会が立ち上げられており、地域の活性化に向けて取組みを進められている。		
	広域的波及成果	完成間近である京都縦貫自動車道京丹波PAと一体的な地域振興拠点施設（道の駅「京丹波味夢の里」）の可能性を生かすため、道の駅「京丹波味夢の里」農産物等出荷者協議会を法人・個人を含め約120名で組織し、京丹波町の農産物を始め様々な魅力を発信する取組みを始めることができた。		
	行財政改革に資する成果	地元協議会等と連携を図りながら役割分担を行い協働のまちづくりが期待できる。		

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	美しい環境づくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地球温暖化防止に向けてCO2の排出削減が求められており、また、節電対策が講じられている中で、環境負荷の少ないクリーンエネルギーの活用の推進に対し積極的な対応が必要である。 また、ごみの減量化やリデュース・リユース・リサイクルの推進、環境美化の推進などの取り組みに対する事業推進が求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	美しい環境の中で住民生活が行えるため、エコに対する住民意識も高まっており、クリーンエネルギーの活用として太陽光発電の普及生ゴミ処理器の普及によるごみの減量化などの対策に対する助成措置を推進するとともに、身近な美化意識の向上のため環境美化作業、環境保全対策にも積極的な取り組みを行う必要がある。							
	総事業費（千円）	42,137	本年度事業費（千円）	12,836	交付金額（千円）	780		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	不法投棄対策事業	関連事業	町内で回収した不法投棄物の一時保管庫の設置		ストックヤード用倉庫設置			
	公害（水質汚濁）対策事業	関連事業	町内に設置した濁度計による監視経費		上和知川河川等水質検査業務			
住民 協働 事業	環境保全センター監視事業	関連事業	環境保全センターの監視経費		猪鼻区監視委員会運営補助、瑞穂環境保全センター監視委員会委員報償4名			
住民が 取り組む 事業	新エネルギー導入促進事業	交付対象	太陽光発電システム導入補助事業		補助金交付 18件			
	資源ゴミ回収助成事業	交付対象	資源ゴミ集回回収に対する助成事業		41団体に対し助成金を交付			
	生ゴミ処理機購入助成事業	交付対象	生ゴミ処理機等導入補助		コンポスト6基、生ゴミ処理機9台			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	太陽光発電システム導入補助 50件		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		18件（平成24年度：45件）		
	成果指標の達成状況	▲	（左の理由）	国による補助事業が終了し、また、電気の買い取り価格に関しても下がった影響があり、クリーンエネルギーへの移行意識が薄れてきたと考えられる。設置件数の減少により補助交付件数も減少した、				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）			
成果 指標 ②	成果指標の目標数値	資源ゴミ回収量 160 t		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）		135 t		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	各団体等により、積極的な資源ゴミ回収が行われ、本年度は若干目標値より低くなったが、概ね達成している。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）			

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

<p>本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果</p> <p>※未達成の場合も効果を記載すること</p>	<p>環境負荷の少ないクリーンエネルギーへの関心自体はあるが、国の補助金制度の終了に伴い各家庭における太陽光発電システムの居宅への設置が減っていると考えられる。任意団体による積極的な、Reduce（リデュース）、Reuse（リユース）、Recycle（リサイクル）への取組が、美しい環境づくりに寄与できている。</p>	
<p>※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方策についても記載すること。</p>		
<p>本プロジェクトに対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>環境汚染の監視を行い、クリーンエネルギーの活用とともに、環境対策としてゴミの減量、区（自治会）等清掃活動支援、リサイクルに対する助成等を実施することにより環境美化に寄与することができている。</p>
	<p>住民の自治意識を高める成果</p>	<p>地域の任意団体等による資源ゴミ回収や清掃活動等を通じて、環境美化に対する意識が高まってきている。</p>
	<p>行財政改革に資する成果</p>	<p>コンポストや生ゴミ処理機の導入や資源ゴミ回収等によるリサイクル等の推進により排出ゴミの減量化が図れる。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	安心安全なまちづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	安心・安全	新規・継続の区分	継続	
地域における現状、課題及び住民ニーズ	高齢者や子ども達をはじめとしたさまざまな弱者対策、住民の健康づくりへの対策及び防災対策、耐震など教育施設、道路の安全対策など幅広い観点からの要望があり、あわせて生命財産に関わり、住民生活に直結する課題であることから、あらゆる安全確保に向けた迅速な対応、対策が住民の方々から行政に対し強く求められているところである。								
プロジェクトの目的及び概要	住民生活に関わるあらゆる安心・安全対策を積極的に町が取り組むことにより、住民生活の安心安全確保はもとより、住民みずからの安全確保に対する意識向上を図り、住民相互や地域間での互助意識の向上などに結びつくものであるなど、この取り組みが地域間コミュニティの確立及び強化に連動し、ひいては町全体に「自分たちのまちは自分たちで守る」という意識が浸透し、「災害に強いまちづくり」への礎となる効果が期待できる。								
	総事業費（千円）	525,582	本年度事業費（千円）	17,489	交付金額（千円）	4,100			
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）									
事業分類	事業名	事業種別	事業概要						主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	消防防災対策事業	交付対象	災害用備蓄物資の購入、消防防災施設整備						災害用備蓄物資（毛布、食料、飲料水、救急箱）の購入、避難所対策備品（避難所内バーション、簡易トイレ購入、簡易トイレ）の購入、衛生備品（トイレ処理剤）の購入、防護服等購入、放射線測定器購入、消防団詰所の修繕（7施設）
	保育所施設安全対策事業	交付対象	保育所施設に係る危険防止等安全対策工事等						エアコン取換工事（1園3箇所）、温水シャワー取替工事、園舎庇改修工事、トイレ屋根樋・雨水排水工事、園庭改修工事、駐車場舗装修繕工事、防犯カメラ設置工事、暖房機取替工事
	健康診査事業	関連事業	がん検診等住民健診の無料実施						健康診査委託料（1機関）、後期高齢者健康診査委託料（1機関）、肺がん検診委託料（1機関）、子宮体がん検診委託料（1機関）、子宮頸がん検診委託料（1機関）、乳幼児健診委託料（1機関）、妊婦健診委託料（20機関）、乳幼児歯科健診委託料（6機関）、成人歯科健診委託料（15機関）、フッ化歯面塗布事業委託料（7機関）、特定健診委託料（1機関）
	予防接種事業	関連事業	麻疹、風疹等予防接種の無料実施						国保連合会給付金（DPT、DPT-IPV、DT、MR、子宮頸がん、ヒブ、高齢者インフルエンザ、小児用肺炎球菌、日本脳炎、不活性ポリオ）、医療機関各種予防接種委託料（49機関）、
	医師確保奨学金事業	関連事業	へき地勤務医師確保のための奨学金制度						実績0件
	交通対策事業	関連事業	交通弱者対策、須知高校生通学バス助成						31世帯（延110回）
	住民協働事業	鳥インフルエンザ発生農場跡地活用事業	関連事業	跡地活用に係る解体撤去工事					
住民が 取り組む 事業	消防防災対策事業	交付対象	自治会所有の消火栓器具整備、防火水槽等の修繕補助						消火栓設備事業補助（11区）
	防犯灯設置補助事業	交付対象	集落内防犯灯設置に係る行政区等に対する設置補助						36区に補助金交付

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

成果指標 ①	成果指標の目標数値	備蓄用食料・飲料水 約1万人分 毛布 590枚	成果指標の実績値 (平成27年3月31日時点)	備蓄用食料：9,930人分、飲料水：10,800人分 毛布：590枚
	成果指標の達成状況	◎	(左の理由)	平成19年度から平成23年度まで計画的に購入し、平成24年度から平成28年度までは保存期限が切れる分について新たな年次計画により更新を行っている。
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		(理由)	(時期)
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	災害時緊急備蓄物資として、約1万人分の食料、飲料水を年次的に購入するとともに、毛布、紙おむつ、簡易組立トイレ等の避難所の物資についても計画的に購入し、多様化する災害に備えている。さらに、原子力発電所からUPZ圏内に位置することから、放射線測定器も配備して、原子力災害にも備えている。 また、学校施設及び保育所等の安全対策を行い、児童生徒の安全の確保が図れた。			
※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。				
本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	防災対策と合わせて、防犯灯設置補助等の防犯対策を行うことにより、安心安全なまちづくりにつなげている。		
	府と市町村等との連携に資する成果	京丹波町地域防災計画原子力災害対策編を策定し、緊急時モニタリング体制や緊急時被ばく医療活動体制等京都府との連携を明記した。 平成26年11月24日には、京都府及び南丹市と合同で原子力災害住民避難訓練を実施した。		
	住民の自治意識を高める成果	各区が設置している消火栓用備品等の購入補助や防犯灯設置補助等を通じて、住民の防災・防犯意識の向上につながる事が期待できる。		
	広域的波及成果	災害用備蓄物資を、東日本大震災発生直後に被災地に救援物資として輸送した経過もあり、災害時における広域支援の役割も担っている。		
	行財政改革に資する成果	消火栓備品当の購入補助、防犯灯設置補助をはじめ、自主防災組織育成事業（地域力向上プロジェクト）等を通じて、自主防災意識の向上につながる。		

(記載要領)

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは—を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	子育て支援と高齢者のいきがづくりプロジェクト		実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	少子・高齢化	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	少子化が進行する中で、子どもを育てやすい環境づくりが求められているとともに、高齢化が著しく進行している本町にとって、社会保障経費の増加が避けられない状況であり、介護予防等の充実が求められている。							
プロジェクトの目的及び概要	子どもを安心して生み育てられるための総合的な支援を更に充実させ環境基盤の確立を目指すとともに、高齢化対策については従来からの施策に加え、新たな生きがい対策などの施策を推進し、高齢者が暮らしやすい環境づくりを推進する。							
	総事業費（千円）	291,007	本年度事業費（千円）	74,372	交付金額（千円）	2,034		
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）								
事業分類	事業名	事業種別	事業概要		主な実績（出来高数値等）			
市町村 実施事業	チャレンジ学習事業	交付対象	中学生の学力の充実・向上を図るため、授業日の放課後等に外部講師を活用して学習事業を実施		蒲生野中学校（教師4名：71時間）、瑞穂中学校（教師1名：62時間）、和知中学校（教師2名：92時間）			
	敬老祝賀事業	交付対象	100歳（50,000円分）、100歳以上（5,000円分）、88歳（5,000円分）の高齢者へ記念品等を贈呈		100歳（9名）、100歳以上（4名）、88歳（155名）			
	すこやか子育て祝金事業	関連事業	出産祝金助成（第1子：50千円、第2子：100千円、第3子以降：200千円）		助成件数：62件			
	心配ごと相談事業	関連事業	心配ごと相談会の開催		京丹波町社会福祉協議会にて実施			
	在宅高齢者等生活支援事業	関連事業	高齢者の外出支援及び食の自立支援委託事業		外出支援（5事業所）、食の自立支援（2事業所）			
	すこやか医療費助成事業	関連事業	医療費助成（外来：3歳～中学卒業まで、衆院：中学入学～中学卒業まで）1ヶ月1医療機関につき自己負担200円として差引きの自己負担額を助成		助成金額：21,045千円（年間）			
	地域包括ケアシステム推進事業	関連事業	保健・医療・介護・福祉の連携システムの構築、地域で支える介護力アップを図る。		在宅介護支援事業（相談業務）を町内社会福祉法人等に委託、2級ヘルパー養成講座の実施等			
住民協働事業	ファミリーサポート事業	交付対象	地域での児童預かり相互制度の事業実施委託		提供会員：37人、依頼会員：42人、両方会員8人 マッチング：14件			
住民が 取り組む 事業	チャイルドシート購入助成事業	関連事業	1子につきチャイルドシート購入費の1/2を助成（上限15千円）		助成件数：43件			
	老人クラブ活動助成事業	関連事業	老人クラブへの活動助成		町老人クラブ連合会へ助成（加盟数：64団体）			
成果 指標 ①	成果指標の目標数値	ファミリーサポートセンター事業登録者 20人		成果指標の実績値 （平成27年3月31日時点）	事業登録者延べ87人 （提供会員37人、依頼会員42人、両方会員8人）			
	成果指標の達成状況	◎	（左の理由）	平成23年度から開始以来、広く町民の方々へ事業内容が浸透し需用人数及び提供人数が年々増加しており、就労する保護者等への支援が形として現れてきている。				
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）				
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果	平成23年度にファミリーサポートセンター事業を開始し、初年度は登録者が9人であったが、平成24年度は40人、平成25年度は67人と年々登録者を増やすことができた。実際のマッチングも平成24年度は18件、平成25年度は31件となり、地域での相互援助活動が徐々に定着し就労する保護者等への支援につながった。							
※未達成の場合も効果を記載すること	※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。							

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	すこやか子育て祝金事業やチャイルドシート購入助成事業等を通じて、乳幼児をはじめとする子どもの安全安心の支援及び子どもを守る保護者の負担軽減を図ることができた。
	住民の自治意識を高める成果	地域での相互援助活動が広がりつつある。
	その他の成果	すこやか子育て医療助成事業、すこやか子育て祝金事業、チャイルドシート購入助成事業、ファミリーサポートセンター事業等の子育て支援を通じて、若者定住促進につながる。

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

プロジェクト名	地域力向上プロジェクト	実施期間	平成23年度～平成28年度	テーマ	その他	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	地域における自主自立を基本とした住民自治の確立を目指し、住民自治組織の組織化を進めるとともに、地域による地域づくり、まちづくりの推進を図る。 また、地域づくりの基本となる住民各位や団体が横断的な住民交流や個々のスキル向上のために実施する諸活動に対し積極的な支援が求められている。						
プロジェクトの目的及び概要	地域における自主自立を基本とした住民自治の確立のため、住民自治組織の設立、育成や活動支援に積極的に取り組むとともに、住民各位の意識向上のためのさまざまな施策に積極的に取り組むことにより自主性をさらに高め、地域リーダーなどの人材育成や地域における自治活動や交流、共助、互助の活動を活発化し、地域愛あふれるコミュニティづくりを推進する。また積極的なまちづくりへの参画を推進するため各種事業に住民の積極的参画を促す。						
	総事業費（千円）	90,481	本年度事業費（千円）	10,114	交付金額（千円）	2,500	
プロジェクトを構成する事業の平成26年度事業実績（出来高数値等）							
事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）			
住民協働事業	国際交流事業	関連事業	姉妹都市である豪州ホクカスリ市との住民相互交流及び町内外の在住の外国人の方達との交流事業	豪州ホクカスリ市への中学生派遣及び短期留学生受入れ（派遣・受入双方6名、各1回、約1ヶ月）、海外の方との交流（日本語教室：48回、ワールドカフェ：9回、姉妹都市理事交流会：1回、日本語指導要講座参加：20回、ベトナムチャリティイベント：1回、国際交流フェス：1回、ワールドトリップ in 京丹波：1回、ボランティア物資収集：1回、ベトナム孤児院訪問：1回、日本語教室ボランティア初級講座開催：1回、国際理解（メル）イベント：1回、25周年記念誌発行）			
	自治振興推進事業	交付対象	区等の活動拠点となる施設整備や地域活動に対する補助事業補助率1/2上限5,000千円	集落公民館（屋根改修：1区、修繕改修：3区、バリアフリー化：1区、空調整備：6区、複写機購入：3区）			
住民が取り組む事業	協働のまちづくり推進事業	交付対象	まちづくり交付金（組織の活動助成）事業（均等割：1組織200千円、人口割：1人50円）	7組織に助成			
	自主防災組織育成事業	関連事業	自主的な地域防災活動推進のため、町内各集落毎に自主防災組織設立するための経費助成	2区に助成			
	ボランティアロード事業	関連事業	京丹波町の玄関口である国道9号線の丹波10から府立丹波自然運動公園前までの間の住民参加による美化作業経費補助	4月開催（参加者：160名）、7月開催（参加者：206名）、10月開催（参加者：156名）			
	公民館地域活動推進事業	関連事業	町内にある生涯学習や社会教育を担う公民館事業に係る運営活動経費補助	町内活動公民館（4組織）			
	社会教育団体育成事業	関連事業	青少年の健全育成、人権意識の向上啓発推進活動、女性の社会活動参画推進、地域文化の継承などに尽力する団体に係る運営費補助	京丹波町文化協会（加盟60団体）を含む7団体に助成			
	社会体育団体育成事業	関連事業	児童から高齢者まで所属し活動する町内社会体育団体の運営活動費補助	京丹波町体育協会に助成（加盟10団体）			
成果指標①	成果指標の目標数値	住民自治組織	平成26年度9団体	成果指標の実績値（平27年3月31日時点）	8団体		
	成果指標の達成状況	○	（左の理由）	平成22年度当初時点で5団体が、平成23年度で2団体が、平成25年度で1団体が組織を立ち上げ、平成27年3月31日時点で合計8団体が組織され、概ね目標が達成できている。			
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）	（時期）			
本年度の事業実績が成果指標の達成に与えた効果 ※未達成の場合も効果を記載すること	住民自治組織を対象としたまちづくり交付金を通じて協働のまちづくりが推進できており、更なる住民自治組織の立上げに期待するところである。また、少子高齢化が進行する中で、各区の活動拠点となる施設（公民館）の維持管理に苦慮されている中で、施設のバリアフリー化や耐震診断等に対する補助を行うことにより区の負担軽減に寄与できた。それぞれの施設は、災害時の避難場所としての機能も有しており、区民の安心安全にもつながる事業である。更に、住民組織による町有施設活用に向けた施設修繕を行い、地元施設の有効活用をしてもらえることができた。 ※未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応策についても記載すること。						

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成26年度分）

団体名：京丹波町

本プロジェクトに対する自己評価	関連事業との連携効果	災害時の避難所となる各区の公民館等に配備する災害用資機材や備蓄物資の購入等に対する補助を行う自主防災組織育成事業により、自治振興推進事業等とともに組織活動を支援することができた。
	住民の自治意識を高める成果	自治振興推進事業、協働のまちづくり推進事業及び自主防災組織育成事業等を推進することにより住民自治組織の充実と意識の向上を図ることができる。
	行財政改革に資する成果	住民自治組織と行政による協働のまちづくりの推進

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは◎、目標数値の近似値であるときは○、目標数値を下回ったときは△、判断できないときは－を記載すること。